



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 ロート製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4527

URL <https://www.rohto.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 雅史

問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	127,869	15.9	20,966	28.9	22,678	26.2	16,594	25.8
2023年3月期第2四半期	110,313	21.2	16,269	18.3	17,963	33.1	13,192	19.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 26,530百万円(6.8%) 2023年3月期第2四半期 24,834百万円(83.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	72.74	72.53
2023年3月期第2四半期	57.83	57.66

(注) 2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	334,957	238,800	69.4
2023年3月期	309,677	215,078	67.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 232,557百万円 2023年3月期 209,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	12.00	—
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の第2四半期末は分割前、2023年3月期の期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金については株式分割の実施により単純合計出来ないため表示しておりません。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	13.1	38,500	13.4	40,000	12.5	29,000	9.9	127.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	236,178,310株	2023年3月期	236,178,310株
2024年3月期2Q	8,039,419株	2023年3月期	8,039,356株
2024年3月期2Q	228,138,931株	2023年3月期2Q	228,139,549株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い行動制限が緩和されたことに加え、海外からの渡航者も増加し、経済活動は緩やかな回復基調となりました。一方、円安の加速や海外経済の減速懸念、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰が続き、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。個人消費につきましては、行動制限の緩和から消費の回復は見られたものの、光熱費の増加や原材料価格の上昇による商品の値上げ等により生活費の負担は増しており、節約志向は一段と高まりをみせております。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指し「総合経営ビジョン2030」の実現に向けて取り組んでおります。

その結果、売上高は1,278億6千9百万円（前年同期比15.9%増）と大幅な増収となりました。国内におきましては、お客様のニーズに合った商品提案やインバウンド需要に回復の兆しが見られたことにより増収となりました。海外におきましても、原材料価格の高騰があったもののお客様のニーズに合った商品提案や円安の影響により増収となりました。

利益面につきましても、大幅な増収となったことに加え、原価率の改善や販売費及び一般管理費の効率的活用に向けた結果、営業利益は209億6千6百万円（同28.9%増）、経常利益は226億7千8百万円（同26.2%増）、親会社株主に帰属する四半期当期純利益につきましては、165億9千4百万円（同25.8%増）と全ての利益段階で大幅な増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、764億1千1百万円（前年同期比16.5%増）と大幅な増収となりました。

酵素洗顔が好調の「メラノCC」や「肌ラボ」、サプリメントの「ロートV5」が引き続き好調に推移いたしました。マスク着用習慣により伸び悩んでいたリップクリームも回復傾向に転じています。国内グループ会社におきましても、「ボラギノール®」を主力商品とする天藤製薬㈱も増収に寄与しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善により132億3千3百万円（同26.9%増）と大幅な増益となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、87億6千5百万円（前年同期比14.6%増）と大幅な増収となりました。

医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社が引き続き好調に推移し、増収に大きく貢献しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善により、5億6千4百万円（同487.3%増）と大幅な増益となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、70億4千7百万円（前年同期比13.1%増）と大幅な増収となりました。

主力の消炎鎮痛剤が引き続き好調に推移し増収に寄与しました。「Hadalabo Tokyo」は英国、東欧及び中東主要国で好調に推移しました。また、2021年5月にCEマークを取得し発売したドライアイ点眼剤である「ロート ドライエイド」により、目薬市場の開拓を引き続き進めており好調に推移しています。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善により、8億8千1百万円（同47.8%増）と大幅な増益となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、342億2千3百万円（前年同期比15.3%増）と大幅な増収となりました。

香港、マレーシア、台湾が高成長を継続し、中国がコロナ禍から回復傾向となり売上を牽引しました。リップクリーム、日やけ止め、フケ抑制シャンプー「セルサン」、目薬が増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善により、58億4千7百万円（同17.8%増）と大幅な増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は3,349億5千7百万円となり、前連結会計年度末より252億7千9百万円増加いたしました。これは、投資有価証券が67億4千万円、受取手形及び売掛金が54億9千1百万円、商品及び製品が48億9千万円、それぞれ増加した一方、投資その他の資産のその他が10億4千7百万円減少した事等によるものであります。

負債総額は961億5千6百万円となり、前連結会計年度末より15億5千7百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が25億8千1百万円、電子記録債務が15億5千2百万円、それぞれ増加した一方、長期借入金が16億9千3百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては2,388億円となり、前連結会計年度末より237億2千2百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が137億8千8百万円、為替換算調整勘定が72億8千5百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億2千1百万円減少し、769億7千万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ23億1千4百万円減少し88億1千1百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が225億4千4百万円あり、キャッシュ・フローの増加要因である減価償却費が39億2千2百万円、仕入債務の増加額が36億9千9百万円あった一方、キャッシュ・フローの減少要因である、売上債権の増加額が60億1千万円、棚卸資産の増加額が57億8千2百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、83億5千1百万円と前年同期に比べ29億8千4百万円増加しました。これは、有形固定資産の取得による支出が39億6百万円、投資有価証券の取得による支出が36億5百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、49億2百万円と前年同期に比べ28億7千3百万円減少しました。これは、配当金の支払額が27億3千7百万円、長期借入金の返済による支出が17億4千万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

[2024年3月期 通期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	263,000	37,000	38,000	27,500	120.54
今回修正予想(B)	270,000	38,500	40,000	29,000	127.12
増減額(B-A)	7,000	1,500	2,000	1,500	—
増減率(%)	2.7	4.1	5.3	5.5	—

連結業績予想につきましては、当第2四半期の日本セグメントが想定を上回り好調に推移し、第3四半期以降も引き続き堅調に推移すると予想されるため、2023年8月9日に公表した連結業績予想を修正いたします。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全てが前回発表を上回り増収増益となる見込みです。なお、為替レートは1ドル140円、1中国元19.7円を想定し修正しております。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,951	79,341
受取手形及び売掛金	39,686	45,177
電子記録債権	21,327	23,583
商品及び製品	22,451	27,342
仕掛品	3,407	4,035
原材料及び貯蔵品	15,204	17,208
その他	8,575	11,486
貸倒引当金	△357	△431
流動資産合計	190,246	207,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,626	30,066
その他（純額）	36,555	38,289
有形固定資産合計	66,182	68,356
無形固定資産		
のれん	2,564	2,372
その他	6,996	6,957
無形固定資産合計	9,561	9,329
投資その他の資産		
投資有価証券	33,637	40,377
その他	17,182	16,135
貸倒引当金	△7,132	△6,986
投資その他の資産合計	43,687	49,526
固定資産合計	119,431	127,212
資産合計	309,677	334,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,025	18,606
電子記録債務	2,693	4,246
短期借入金	4,177	4,171
未払費用	20,777	19,424
未払法人税等	5,048	5,530
賞与引当金	3,535	3,614
役員賞与引当金	50	25
その他	27,854	27,347
流動負債合計	80,162	82,966
固定負債		
長期借入金	7,516	5,823
退職給付に係る負債	3,104	3,215
債務保証損失引当金	42	31
その他	3,773	4,121
固定負債合計	14,436	13,190
負債合計	94,599	96,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	5,292	5,292
利益剰余金	184,005	197,794
自己株式	△4,938	△4,938
株主資本合計	190,864	204,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,951	10,265
為替換算調整勘定	10,649	17,934
退職給付に係る調整累計額	△277	△294
その他の包括利益累計額合計	18,323	27,905
新株予約権	382	382
非支配株主持分	5,508	5,859
純資産合計	215,078	238,800
負債純資産合計	309,677	334,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	110,313	127,869
売上原価	47,833	53,909
売上総利益	62,480	73,960
販売費及び一般管理費	46,211	52,993
営業利益	16,269	20,966
営業外収益		
受取利息	431	671
受取配当金	271	268
持分法による投資利益	64	86
為替差益	456	467
その他	900	694
営業外収益合計	2,124	2,187
営業外費用		
支払利息	123	109
貸倒引当金繰入額	207	-
投資事業組合運用損	-	104
その他	98	262
営業外費用合計	429	476
経常利益	17,963	22,678
特別損失		
固定資産除却損	153	-
投資有価証券評価損	-	134
特別損失合計	153	134
税金等調整前四半期純利益	17,810	22,544
法人税等	4,526	5,719
四半期純利益	13,283	16,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,192	16,594

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	13,283	16,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	2,360
為替換算調整勘定	11,148	7,360
退職給付に係る調整額	183	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	11,551	9,705
四半期包括利益	24,834	26,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,611	26,176
非支配株主に係る四半期包括利益	223	353

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,810	22,544
減価償却費	4,188	3,922
のれん償却額	191	199
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	86	44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	413	71
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	74	115
貸倒引当金繰入額	207	-
固定資産除却損	153	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	134
受取利息及び受取配当金	△702	△939
支払利息	123	109
持分法による投資損益 (△は益)	△64	△86
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,037	△6,010
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,577	△5,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,101	3,699
その他	△1,885	△5,118
小計	13,082	12,901
利息及び配当金の受取額	718	992
利息の支払額	△121	△108
法人税等の支払額	△2,544	△5,011
法人税等の還付額	△9	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,125	8,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△683	△622
定期預金の払戻による収入	623	703
有形固定資産の取得による支出	△4,134	△3,906
有形固定資産の売却による収入	20	138
無形固定資産の取得による支出	△531	△494
投資有価証券の取得による支出	△1,608	△3,605
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,256	-
長期貸付けによる支出	△180	△565
長期貸付金の回収による収入	1	0
その他	△130	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,367	△8,351

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△190	30
長期借入れによる収入	52	-
長期借入金の返済による支出	△4,099	△1,740
配当金の支払額	△2,395	△2,737
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△762	-
その他	△382	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,775	△4,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,214	3,698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,196	△744
現金及び現金同等物の期首残高	70,905	77,691
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,101	76,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高 顧客との契約か ら生じる収益	65,576	7,649	6,231	29,673	109,131	1,182	110,313	—	110,313
(1) 外部顧客への 売上高	65,576	7,649	6,231	29,673	109,131	1,182	110,313	—	110,313
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,987	644	9	1,957	4,598	26	4,624	△4,624	—
計	67,563	8,293	6,241	31,630	113,729	1,208	114,938	△4,624	110,313
セグメント利益	10,428	96	596	4,965	16,087	125	16,212	56	16,269

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額56百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高 顧客との契約から生じる収益	76,411	8,765	7,047	34,223	126,448	1,421	127,869	—	127,869
(1) 外部顧客への売上高	76,411	8,765	7,047	34,223	126,448	1,421	127,869	—	127,869
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,541	842	43	2,274	4,702	13	4,715	△4,715	—
計	77,952	9,607	7,091	36,497	131,150	1,435	132,585	△4,715	127,869
セグメント利益	13,233	564	881	5,847	20,528	130	20,659	307	20,966

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額307百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。